

# 〔介護福祉科〕

## 1 介護者としてのコミュニケーション能力を身につける

「聴く、話す、書く」能力を身につけることにより、利用者や家族、チーム間での良好な人間関係を構築するために行動することができる。

中 項 目	傾聴する 姿勢	3	相手の話しやすい環境を整えて、関心を寄せて耳を傾けることができる。
		2	相手の話すペースやタイミングに合わせて聞き入ることができる。
		1	相手の話を聞く時に、視線を合わせて相手と向き合う姿勢をとることができる。
	受容・共感 する態度	3	相手の感情・思考・行動を理解し、言葉や態度で共感を示すことができる。
		2	相手の気持ちや思いを、ありのままに受け止めることができる。
		1	相手の立場に立って、思いや行動の意味を考慮することができる。
	表現力	3	実習発表会やグループ活動報告において自分の思いや考えを分かり易く相手に理解しやすい表現で正確に伝えることができる。
		2	レポートやプレゼンテーションにおいて自分の思いや考えを指定された形式に沿った方法で表現することができる。
		1	自分の思いや考えを自分の言葉で整理することができる。
	調整力	3	他者と自分の主張の違いを認めた上で、合意形成に向けて意見調整ができる。
		2	他者の発言や文章の内容を理解した上で、自分なりの疑問や主張を持つことができる。
		1	他者の発言や文章の内容を理解することができる。

## 2 介護を実践できる基本的な専門知識・技術を身につける

利用者の日常生活上の課題を解決するために基本的な専門知識・技術を根拠とした介護を実践することができる。

中 項 目	人間と社会 の理解	3	個人・家族・近隣・地域・社会の単位まで人間を捉える視点を持って、介護実践における倫理的課題の対応について考えることができる。
		2	人間の生活と社会の関わりや自助から公助に至る過程について、社会のしくみや制度を活用して説明することができる。
		1	介護の対象である人間の尊厳と自立について理解し説明することができる。
	介護の理解	3	リスクマネジメント等利用者の安全に配慮した介護を実習の場で実践することができる。
		2	説明責任や根拠に基づいた介護実践のために、分かり易い説明や的確な記述・記録ができる。
		1	高齢者や障害のある方の暮らしと介護サービス提供の場について理解し、生活を支える具体的な方法について根拠となる知識・技術を実習の場で確認することができる。
	こころとからだ のしくみの 理解	3	生活場面におけるこころとからだの変化に気づくための観察項目を説明することができ、変化に気づいたことについて医療職に連絡・報告など連携をとる必要性を説明することができる。
		2	体の構造と働きを理解し、利用者の個別援助計画を考える時の根拠を説明することができる。
		1	こころとからだの両面から利用者の状況を知り、こころとからだ相互に影響し合い、意欲や行動に影響していることを説明できる。
	医療的ケア の理解	3	シミュレーターを使用した「喀痰吸引」「経管栄養」「救急蘇生」の各演習においてケアの実施の準備、実施、報告、記録が実施できる。
		2	医療的ケアを安全に実施するための実施手順と留意点が理解できる。
		1	医療提供の基本的な知識やリスクマネジメントを基盤とする安全な介護の考え方が理解できる。

## 3 利用者の活動の可能性に着眼できる能力を身につける

利用者が現在している活動だけでなく、できる活動の可能性に着眼することで観察・発見し、日常生活で利用者が持つ力を最大限に発揮できる介護実践ができる。

中 項 目	アセスメント力	3	利用者の現在の生活状況を情報収集に基づいて把握し、これまでの生活歴や家族や他者との関係、まだ表出していない利用者の思いなどを引き出すための工夫や、他者の事例について評価することができる。
		2	利用者の生活状況を観察やコミュニケーションを通して情報収集し、個別援助計画の立案のための生活課題の抽出が指導者や教員の指導・助言の下で実践することができる。
		1	これまで学習した知識や実習体験を総合して、利用者の現在の生活状況について、情報収集の方法、生活課題の抽出及び個別援助計画立案・実施までの介護過程の流れを説明することができる。
中 項 目	問題解決 思考	3	利用者の日常生活で問題となっていることについて、因果関係を明らかにして解決方法を具体的に記述することができる。実習の場で実践することができる。
		2	利用者の日常生活で問題となっていることについて、その原因や理由を学習した概念や知識を用いて説明することができ実習の場で対策を考えることができる。
		1	利用者の日常生活で問題となっていることが何かを説明することができる。
中 項 目	着眼する力	3	日常生活で利用者の自立支援の観点から利用者自身の持つ力が何であるかを明確にして、あらゆる場面でその力を最大限に発揮できる介護実践が実習等の場面で実践することができる。
		2	利用者の日常生活において、普段はしていないが特定の条件下で行っていることが何か、また、今後できる可能性のあることは何かを説明することができる。
		1	利用者の日常生活におけるしていることや、これからしたいと考えていることが何かを説明することができる。

計画・実行力	3	個別援助計画を立案し、計画に基づいた介護を実習等の場面で実践しながら、利用者の様子や反応について具体的な観察を行い、安全性・自立性・快適性が保持できているか判断することができる。
	2	利用者に対する個別援助計画立案のために目標設定ができ、目標達成のための具体的な支援内容・方法に基づいた介護が実習等の場面で実践することができる。
	1	介護を実践するための計画立案までの過程を理解し、各段階で行うべきことが何かを説明することができる。

#### 4 自らの介護実践について振り返る力を身につける

自分や他人の言葉や態度、状況を思い起こし、よりよいケアを実現するために、自らの介護実践について自分に問いかけ、改善していくことができる。

中 項 目	振り返る力	3	自分が実施した介護について、自分の行動の意味や相手の反応や言動の意味を考えた上で事実に基づく時系列的な振り返りが専門用語や指定された形式に応じて記録することができる。
		2	自分が実施した介護について、相手の反応や言動を含めた事実に基づく時系列的な振り返りが記録として表現できる。
		1	自分が実施した介護について事実に基づいて自分の行動を時系列的に振り返ることができる。
	考察する力	3	自分が実践した介護について、事実に基づいた経過や結果から改善すべき点や改善の具体策を記録として表現することができる。
		2	自分が実施した介護に対する相手の反応や言動の意味を専門知識と統合して記録として表現できる。
		1	自分が実施した介護の根拠を考えることができる。
	評価する力	3	自分が実施した介護について、目標と照らし合わせて、達成の度合いを評価し、目標や方法の継続・修正・中止等判断することができ、具体的な対策を立てることができる。
		2	自分が実施した介護について良かった点、良くなかった点を整理し、今後の対策の方向性について考えることができる。
		1	自分が実施した介護について事実に基づく結果から、目標と照らし合わせて良かったのかどうかを考えて結果として記録することができる。

#### 5 協働する力を身につける

他の職種の専門性を理解し、目標を共有して、ケアチームの一員としてリーダーシップ及びメンバーシップの役割を理解し行動することができる。

中 項 目	規範遵守	3	介護の専門職者としての知識・技術・態度を向上させる姿勢を身につけ、職業倫理に配慮した行動をとることができる。
		2	自らがルールやマナーを守るだけでなく、社会の一員として、他の人と協力しながら行動する必要性について理解することができる。
		1	学内でのルールや社会のマナーをきちんと守ることができる。
	専門性の理解	3	医療・福祉チームの一員として調整的役割に取り組む必要性について説明することができる。
		2	介護福祉士だけでなく福祉・医療分野の専門職について法的根拠や定義を理解し、ケアチームの一員としての介護職の役割と機能を説明することができる。
		1	介護福祉士の専門性について法的根拠や定義を用いて自分の言葉で説明できる。
	メンバーシップ・リーダーシップの理解	3	グループ活動の中でグループの方針に沿った活動の提案ができ、グループの方針に影響を与えるほどの貢献をすることができる。
		2	小集団やグループの目的実現のために、自分の役割や責任について理解し、説明することができる。
		1	グループ活動の中で決めた方針に沿って活動することができる。また、自己の能力を認識し、適宜周囲の人々の援助を求めることができる。